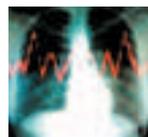


広報 NO. 77

県立三好病院

平成22年3・4月号

今月の特集：肺がんについて



6階病棟スタッフです！

— 県立病院事業基本理念 —

県民に支えられた病院として 県民医療の最後の砦となる

発行 徳島県立三好病院 広報委員会
〒778-8503 徳島県三好市池田町シマ815-2
TEL 0883-72-1131 FAX 0883-72-6910
HP <http://www.tph.gr.jp/miyoshi/>



肺がんについて

呼吸器内科 北室 真人

1、肺がんは増えている！ 死亡者も増えている！！

肺がんは、がんの中で最も死亡率が高く、2007年の我が国の死亡者は6万5千人にのぼっています。男性ではがん死亡の第1位です。この傾向は1998年以来ずっと続いており、近い将来（2015年）には亡くなる人の8人に1人は肺がんの時代が来ると言われています。実に20年前の2倍に増加しています。女性はがん死亡の第3位ですが、最近増加傾向にあります。

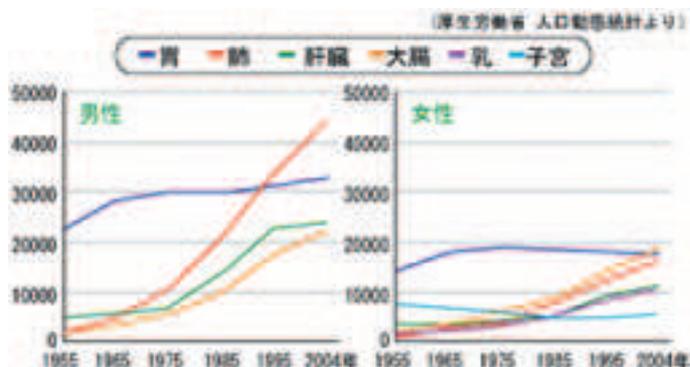


図1 悪性新生物
部位別にみた死亡者数の年次推移

2、タバコを吸わなくても肺がんになる

肺がんの原因としてタバコはよく知られていますが、高齢化なども要因とされており、実際のところ、非喫煙者でも肺がんになることがまれではありません。

肺がんには大きく分けて4つのタイプがあり、そのうちの1つのタイプである腺がんには喫煙と関係ないものが多く含まれています。

一般に肺がんの症状としては、咳・痰・血痰・呼吸困難・発熱がありますが、これだけでは肺炎や他の病気と区別が付きません。胸部X線やCTなどが必要になります。

しかし、肺の末梢にできるがん（腺がんが多い）の場合には症状が出ないことが多く、早期の場合でも症状が出ることは少ないようです。

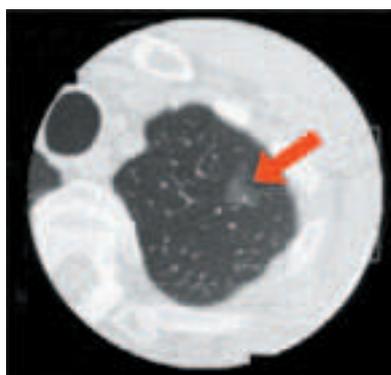


図2 胸部CT 早期腺がんの例
淡く白っぽいところががんです。
この時期だと普通の胸部X線検査
では分かりません。

3、早期発見が大切

そこで早期に見つけるには胸部X線検査・CT検査、また、痰が出るなら喀痰検査を行って異常がないかを検査します。

最低年1回の胸部X線検査は、どなた（健康な方）でも必要と思います。特に喫煙者や肺の持病がある方は必ず受ける必要があります。

もし異常があっても、必ずしも肺がんとは限らないので、気管支鏡やPET検査を行って診断をします。

4、まだまだ低い検診率

我が国の肺がん検診の受診率は20%前後です。ここ10年変化がなく、だいたい全国で700万人が検診を受けています。検診でがんと判明するのは、10万人に50人とされています。

ですから、検診で精密検査が必要と言われても、肺がんとは限りません。また、仮にがんだったとしても打つ手はあります。

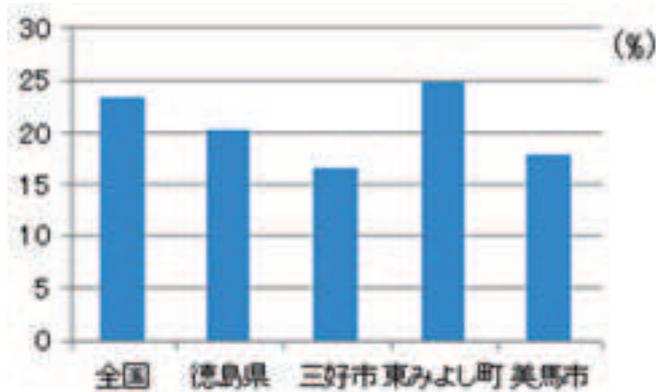


図3 市区町村別検診率

実は、徳島県、三好市の検診受診率はあまり良くないのです。全国平均でも、肺がん検診の受診率は20%前後ですが、三好市はもっと低いのです。

5、予防策があるならしたいけど・・・そして治療の新展開

一番確実な予防は、タバコを吸っているのなら、今すぐやめることです。タバコ以外の予防効果はあまりはっきりしていません。

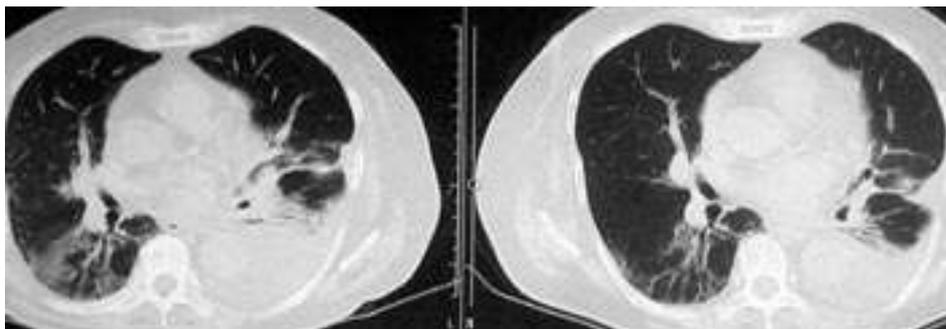
あとは検診を受けていただくことでしょうか。

最近、医療の進歩に伴い、治療の様相も徐々に変わってきています。しかし、完全に治すためには手術が第一です。

仮に範囲が広すぎて手術ができない場合には、放射線や抗がん剤で腫瘍を小さくして手術することも可能です。

また、これは当院の患者さんに多いのですが、肺に病気がもともとあり、手術ができない場合には、抗がん剤、放射線を併用するとか、さらに最近注目されているものに分子標的薬があります。

分子標的薬には、効果に個人差があり、遺伝子検査で効果があるかどうかをあらかじめ調べることが可能になっています。当院で分子標的薬治療を行った患者さんの胸部CTを示しますが、かなり有効のようです。服用前は寝たきり状態でしたが、服用後は胸水の減少効果があり、退院した症例もあります。



分子標的薬投与前

投与後5か月

図4 分子標的薬治療前後の胸部CT像

シリーズ「三好病院の裏方...委員会活動の紹介」

三好病院では医師・事務・各種コメディカル・看護師で構成された37の委員会・ワーキンググループがあります。シリーズとしてどんな活動をしているのか皆様にご紹介していきます。

2. 接遇向上対策委員会

【委員会設置の目的】

接遇向上対策委員会は、接遇向上を推進することによって医療サービスの充実を図り、またその活動を通して全職員が成長し、職員全体のモラルが向上することを目的として設置されました。

【活動の概要】

接遇向上対策委員会は毎月1回定期的に開催され、各部署の委員が集まって、三好病院の接遇向上を推進するための取り組みを行っています。実際の委員会の活動としましては、年1回外来患者満足度調査を実施し、当院を利用される患者さんに職員の対応や施設・設備面での満足度、待ち時間などのアンケートに御協力いただき、その結果を病院全体の接遇向上に生かしています。また、毎年講師を招いて、職員全体が受講する接遇研修会も実施しています。その他にも、全職員から接遇ポスターの標語を募集し、優秀な作品を委員会で選定し、その標語を使用したポスターを作成、そして院内掲示を行い、接遇向上に対する意識の啓発に努めています。



《ボランティアを募集しています》

人の役に立ちたいと思っている方、人と人とのふれあいを持ちたいと思っている方、患者さんと病院を結ぶ架け橋として、あなたのその優しさを求めています。

活動内容

- ・ 外来の案内（受付・受診・検査）、車椅子等の介助、診察申込書等の代筆、タオルの整理、庭園の清掃等

ボランティア活動に参加したいとのご希望のある方は、下記までご連絡ください。

徳島県立三好病院 ボランティア担当 電話 0883 - 72 - 1131

御意見・御要望がございましたら、ホームページ、または院内御意見箱までお願いします。